

肢体不自由児者の父母の機関誌

ZSZ No.159 2023.6.20 発行

# いっしょ

第56回全国大会  
 第53回中国四国ブロック岡山大会  
 期日 令和5年8月4日(金)  
 ~5日(土)  
 会場 岡山コンベンションセンター



令和4年度相談事業報告  
 令和4年度事業・決算報告  
 令和5年度事業・予算計画(案)  
 令和5年さわやかレクリエーション  
 開催予定一覧



**全肢連**

一般社団法人 **全国肢体不自由児者父母の会連合会**  
 National Federation of the Physically Disabled and their Parents Associations, ZENSHIREN

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709 TEL 03(3971)3666 FAX 03(3971)6079

URL: <http://www.zenshiren.or.jp/> E-mail: [zenshiren@zenshiren.or.jp](mailto:zenshiren@zenshiren.or.jp)

URL: <http://www.facebook.com/ZENSHIREN>



全肢連は、障害児の親たちが、互いに助けあい、力をあわせているように努力しています。障害児者が1人の人間として、生きがいの持てる地域社会づくりをめざしています。

# 令和4年度 国庫補助事業 相談事業報告

身体に障害のある子どもを持つ親の集まりの父母の会は、日常生活の中で日々感じる困りごとを聴くペアレント活動を本年度も社会福祉法人全国心身障害児福祉財団の「相談事業」を受託し、実施しました。

## 【相談期間】

令和4年8月～12月

## 【相談員】

全肢連理事、父母の会会長14名

## 【相談を受けた人数】 88名

## 【相談件数】 616件

(昨年度より199件減)

相談の方法は、新型コロナウイルス感染症の七波が収まりを見せない中、3つの密を避け、来訪・巡回等の対面が4割強、電話・メール等は5割強となっています。(図1参照)

今回は、福祉財団の「相談内容」の分類に従い整理した。その分類は「施設」「GH入所希望」「教育」「養育」「生活」「療育相談」「職業」「その他」となっています。寄せられた相談内容の全体は、図1・2のとおりです。

「その他」が43%、「生活」28%、「GH入所希望」7%、「教育」6%、「職業」2%に「療育相談」「療育」「養育」をあわせて3%の順であった。

図1 相談方法

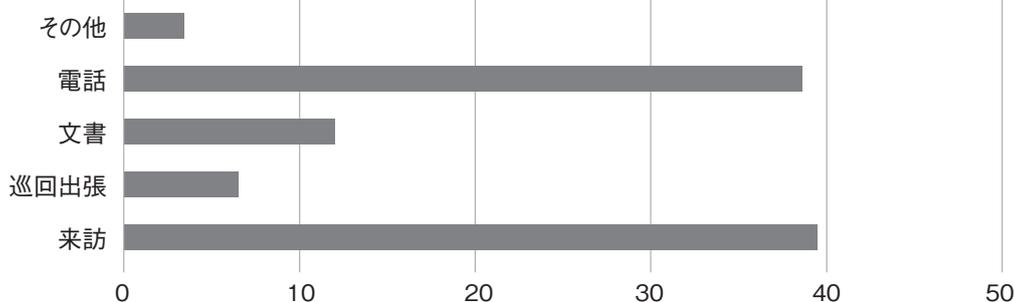


図2 全体像

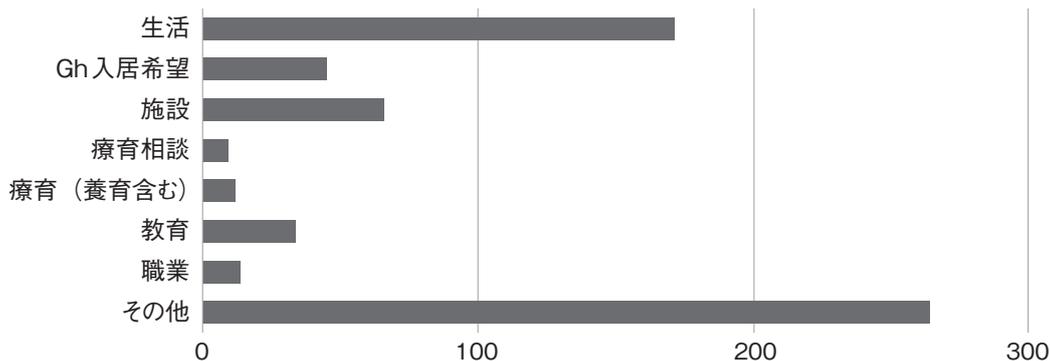
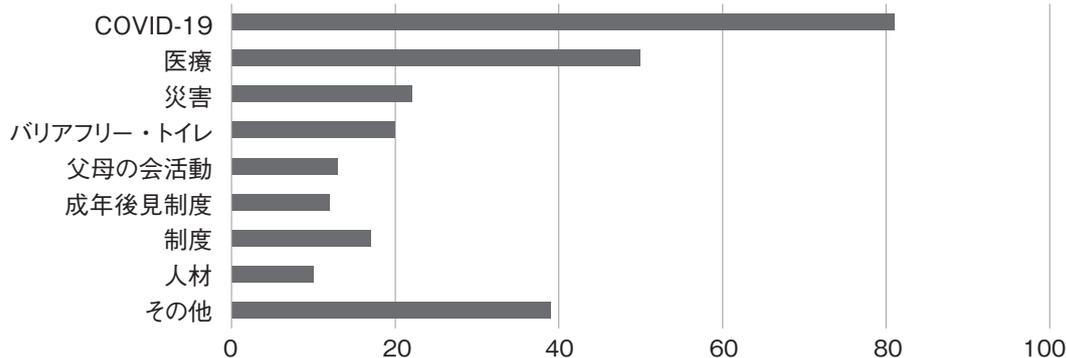


図3 その他内訳



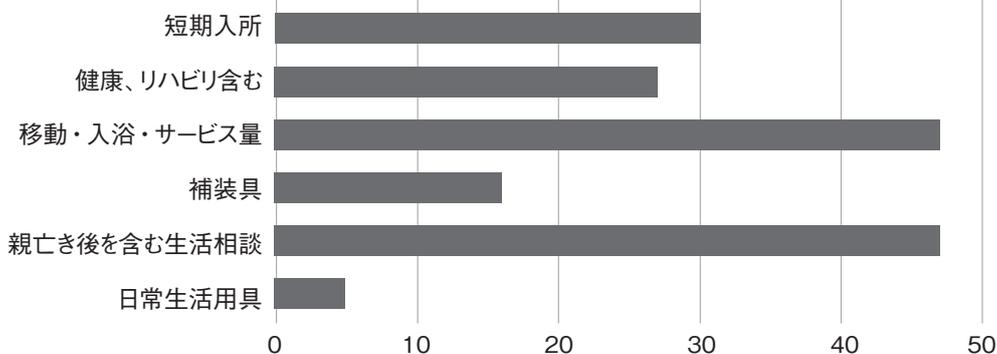
### 生活

相談内容の割合で「その他」が多いのは、今日の社会情勢、障害福祉の社会的環境の向上・充実により、そのことから生じる困りごとの相談内容が変わったことに内容の分類が対応できていないためと推察する。特にパンデミックな新型コロナウイルス（COVID-19）による想定していないことに現れている。「その他」の意味は、「COVID-19」「医療」「災害」「バリアフリー（トイレ含む）」「制度」「父母の会活動」「成年後見制度」「人材」の項目で整理したその結果は、図13の通りです。

全体の27・9%を占める『生活』を「移動・入浴・サービス量」「親亡き後を含む生活相談」「短期入所」「健康・リハビリ」「補装具」「日常生活用具」の項目に整理した。(図14)

「移動・入浴・サービス量」(27・3%)の「移動支援」は、自宅から自宅を基本としているがGHから自宅への使用を含めて利用範囲の拡充の意見が多い。主な意見として「移動支援が始まってからずっと利用しているので色々な問

図4 生活



題も経験して来ている。出発が自宅・帰日も自宅という流れを守ってきた。しかし、グループホームに入居してからも移動支援を利用してしているが、帰宅する日に出発はグループホームでも帰りは自宅にはできないのか。帰宅する日は月に1度であるが、親がグループホームへ迎えに行くのは大変負担である。移動支援は市の管轄なので市に何とかならないかと相談したが、市は事業所との契約だから変えることはできない、と返答。もう一点は、長期休暇で1週間ほど家にいる間の移動支援の使い方も、わざわざグループホームへ送り・迎えに行くやり方しか認めてもらえないのは、本当に困る。「施設から医療機関への通院送迎のヘルパーをGHや自宅と同様に認めてほしい。」と「通所施設に通っているが、送迎バスを利用してきている通所者は1/3程度(10数名)である。母親が働いているので送迎サービスを利用できるようにしてほしいが、なかなか申請が通らない。」等、「入浴」では親の高齢化で在宅での入浴が難しく、生活介護事業所・GHに設備がないためその整備を望んでいる。主な意見は、「一番の困りごとはお風呂。高齢の保護者も入れるのが大変。入浴サービスを利用して

毎日入れず、清拭を行ってもやはり風呂に入れてやりたい。次に「サービスマン」では、事業所と支援員の不足で使いたいサービスが使えない。放課後等デイと生活介護事業所の利用時間の差について寄せられている。主な意見は、「日中一時支援をしてくれる事業所がまったくないので困っている。」「生活介護の時間が短いため親の就労ができない。また時間が限られてしまう。生活介護の後、要支援あるとうれしい。」「親亡き後を含む生活相談（27・3%）では、親の加齢（高齢化）とともに健康と介護負担増および親亡き後の生活費援助等子どもの将来について不安な意見がある。」「親なき後のことが心配です。介護者（母）の健康状態が不安です。現在通院中。」「グループホームではなく、民間のマンションを借りて一人で生活していますが、全く何の補助もなく年金だけの生活はできず、親が足らず（3万〜5万）を出費しています。親が亡くなった後は今の生活を続けることができません。本人が望む生活が1日でも長く続くような補助金等の支援があれば助かります。」「

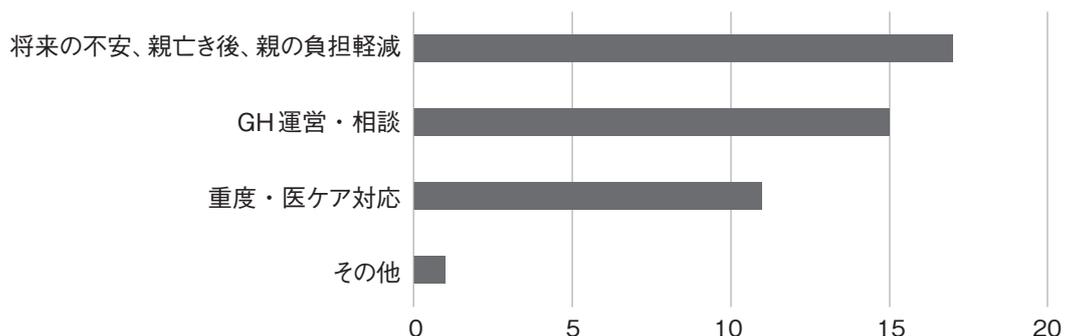
短期入所では、予約が取れない、夜勤に看護師が以内の他、子どもの身体状況で利用制限がある。特に医療的ケアがなく動ける重症心身障害の方の利  
用施設がなく、母親の疲労困憊でその整備が急がれる。また、介護者の急病などでの緊急一時預かりを望み制度の充実が望まれている。主な意見は、「ショートステイを利用していますが、医ケアがあり四つ這いで動くので利用できる施設が1カ所しかありません。またその施設も看護師がいらない日があつたり固定の利用者がいたりしていざという時利用できなくて困っています。」「ショートステイの希望を施設に申し入れたら入れないと言われた。相談員さんからわけを聞いてもらつたら、食事介助が必要になるがスタッフがなくて預かれない」と言われた。」「医療的ケアが必要な子の場合に緊急性があつてもすぐにショート等預けるところがない。週末等は窓口がお休みなので頼めないのです、そういうとき直接受け入れ病院に連絡して臨機応変に預かってくれる制度になってほしい。」「健康・リハビリ（15・8%）では、子どもを何時までも看るには健康第一に関する意見、リハビリでは歩行訓練を続けて受けたい  
の意見が寄せられた。主な意見は、「いつまで、40才の娘と一緒にいられるかなあと、思いながら自分（母親）の健康のこと。体を大切に

して過ごしていきたい。 ※生命保険会社がやっている活動を、利用してみてもいいのではないか?」「18歳になったとたん、今まで受けてきた訓練ができませんと言われた。リハビリを受けたいが捜せなかった。訓練は2次障害をなるべく遅らせるためにも必要だと思いが。」「補装具（9・3%）本年度実施したシーティング県肢友会が大きく栄起用し、座位保持装置（2件）と希望の車いす仕様での製作（7件）、複数台の車いす修理と車いすに関する相談が寄せられた。日常生活用具（2・9%）では、紙おむつの支給判定に関しての意見他介護スーツ等介護機器の助成の意見があつた。これは、介護者の健康維持、しいては障害児者のQOL向上につながる。主な意見は、

## GH、入居希望

『GH、入居希望』は全体の7・3%で「将来の不安・親の負担軽減」「GH運営・相談」「重度・医ケア対応」の項目に整理した。（図15）GH入居（利用）の動機は、子供の将来を案じて親の高齢化、健康と安心・安全な生活

図5 GH入居希望



がGHにあることが大きな要因となっている。中でもバリアフリー化された重度重複の方（医療的ケアを含む）のGHが何処にもなく建設を望む意見（63・6%）、またGHを作る方法（手順）、運営に関わること費用が障害年金内に収まる等（34・1%）の他、職員が繁茂な入れ替わりからの不安、体験GH制度周知不足でGH生活に馴染めないのではと心配する意見がある一方、将来の安心・安全を望んで入所施設の入所、建設を望んでいる。主な意見は次のとおり。「親が元気な時は何にも気にせずにいたが、父親が病気で寝込み、家で介護の必要なものが2人になった時、母親の負担が大きくなり母親の体調もおかしくなってきた。そろそろ子どもをどこかに預けなくては家族が皆が倒れてしまうとう不安にかられた。しかし、現在通っている作業所なり、利用してる事業所から大きくかけ離れた生活は望まない。生まれ育った地域で安心して生活できることを本人も望んでいる。車椅子での生活は完全なバリアフリーでないと介護する方もされる方もどこかに負担が来て、生活そのものが不快になる。完全なバリアフリーにするには建設費・設備費に多額の費用がかかると聞いている。我

が子だけでなく、すべての障害者が自分らしい生活ができるよう、助成をしてください。」「現在の福祉施策では、重度の障害のある子をもつ親は安心して老いることはできません。託せる場所が少ない。あったとしても人権の観点から障害者に特に整備された状態ではありません。」「グループホーム10名の利用者にに対し、夜間支援員は1名が現実で、男性の職員が女性の障害者を介助することもありません。」「重度の子たちの自立のためのグループホームがあれば助かる。障害があっても人間らしく生きてほしい。親も子どもが全ても安心して預けられる場所が欲しい。」「親が高齢となり、片親のためグループホームを検討しているが、いまだ手放せない気持ちの方が強い。

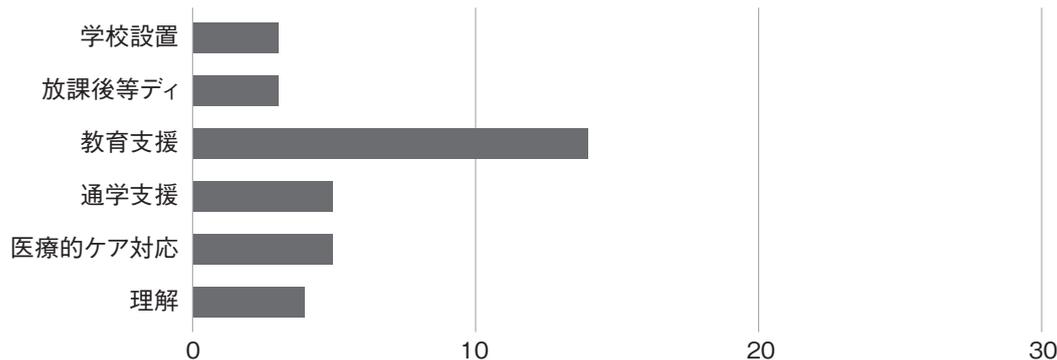
必要な経費の額や入所後、日中はどのように過ごすのか知りたい。」「最近では学校生活においては医療的ケア児の問題は、少しずつ進んできています。思うが、卒業後18歳を過ぎてからが長いのです。親が老いてきても安心して生活できる場所を、それも遠く離れた場所ではなく地元地域で暮らしていただける施設ができるのを願っています。医療的ケアが必要な障害者でも、受け入

れていたような施設を早急にご検討をお願いします。」「現在特別支援学校高等部に通っているが、卒業後にグループホーム入所を希望している。しかし市内にはバリアフリーの肢体不自由者の男性用グループホームがない。市営住宅なども含め「バリアフリー」の「交通の便の良い場所」にグループホームがほしい。とにかく今、切に希望している。現実には親の負担が重くなるばかりだ！」「親の高齢化に伴い介護がだんだん困難になっている。介護ができなくなる前に施設（グループホーム）などを考えたい。親の高齢化に伴い介護がだんだん困難になっている。介護ができなくなる前に施設（グループホーム）などを考えたい。」「医療的ケアのある人も入れるグループホームの整備をしてほしい。」「

## 教育

次に「教育」は、全体の5・5%で「教育支援」「通学支援」「医療的ケア対応」「学校設置」「放課後等デイ」に整理した。（図16）知的障害の生徒増で肢体不自由児校に知的障害校を設置の逆が進まない、先生の障害の理解不足

図6 教育



や医療的ケア児の通学を支援する事業所、看護師不足などで主な意見は、「呼吸器を使用しているため、利用できる放課後等デイサービスが少なく、また区内にはないため困っている。他区からは定員と支援の不足から利用を断られ、利用する場がなくなってきた。来年度区内に開設される医ケア対応の施設では今のところ呼吸器対応との話であるが、心配しかない。」山形県の支援学校に遠距離で通う生徒向けの送迎を検討してほしいです。リハビリや診療の便利さから地元の学校ではなく遠方の支援学校に通う選択をしている方が多くいます。現在運航しているスクールバスは学校のある市町村の隣の市からのみで、加えて医療的ケアがない生徒しか利用できません。「保護者の付き添いの長期化、スクールバスへの乗車不可、日常やっているケアができないなどの多くの制約があります。学校のルールに当てはめようとするのではなく、もっと個（子）に寄り添った対応がほしい。」全国で進んできた教諭による医療的ケア実施を佐賀県内でもスタートさせ、児童生徒と教諭の信頼性の確保、教諭の専門性の向上を図ってほしい。」学校における医療的ケアの実施が決定するまでに4か月近くか

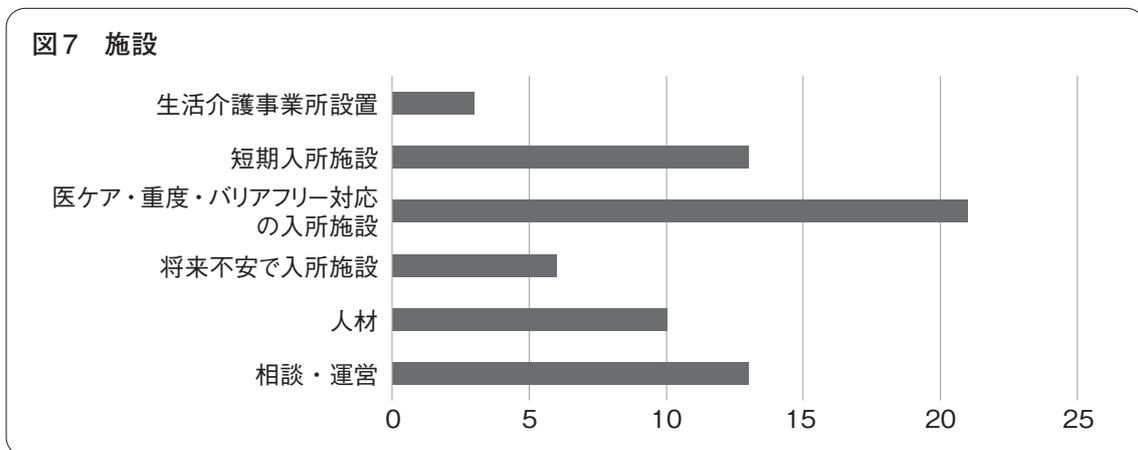
かっけていまだに実施されていないことから学校に通えていない。手続きの短縮をなんとかしてほしい。」医療的ケアの必要な生徒の担任を3号研修修了者に行うことにより、限られた範囲ではあるが、新学期から教員による医療的ケア（特定行為）を行えるのではないか。」等

## 施設

全体の10・7%の『施設』の相談を「入所施設」「短期入所施設」「相談・運営」「人材」「施設の運営・相談」の項目に整理した（図7）。

医療的ケアや重度重複に対応できる入所施設・生活介護施設・短期入所施設の建設を望んでいる。（17件）、一方施設での虐待事例、職員の質、夜勤の人員体制、施設内のサービスの苦情から入所施設における生活を不安視している。主な意見は、「保護者の高齢化、緊急入院により子どもの預け先、ショートステイ先の受け入れを緊急でも一時的に対応してくれる施設がないので困る。市の福祉総務課が、入所している福祉施設が当面の相談先であるが、入院が長期になると家族（身内）が世話を

図7 施設



をすることになるといいうことで、精神的、肉体的負担が増大する。」医療的ケアや重度の人が通所できる生活介護施設がない。入所施設がない。」短期入所を受け入れてくれるところが少ない。枠も少なく、申し込んでも断られてしまう。」来年高考部を卒業し、生活介護の事業所に行きます。しかし開所時間が短く、今の仕事を縮小せざるを得ません。ご厚意で延長しても大丈夫と言われていますが、事業所に対する延長の支援をしっかりと頂き、長い時間開所してくれる事業所が増えてほしいと願っています。」施設に入所しているが、手が回らず、サービスが劣悪であることが散見されている。例えば、入浴が毎日ではない、施設内でのけがに適切な処置をしていないなど。」重心児対象の放課後等デイサービスやショートステイの施設が少ない（選択肢が少ない）」「父親の死亡で自宅に引きこもりになった息子の今後について心配。私（87歳）が一人では面倒を見続けることが限界になってきている。私自身も高齢になってきているので、体力面の不安ばかりか、いつ何時どうなるかわからない状況。安心して眠れない。」よ製専用の短期入所施設を「訪看護やヘルパーの来訪も1〜2人

時間では仮眠出来ない。医療的ケア児者を受け入れる場所として重心重度の施設や療养的なグループホームの設立はできないのか。」

『養育』『療育相談』『職業』は合わせ、全体で3・4%を占めています。

## 養育・療育相談

相談については、家族間での障害の理解を促す方法での悩み(4件)、相談員(相談事業所)の専門的相談に応える力量不足(6件)、施設入所(3件)、サービスの選択(2件)等の相談があった。

養育では「子どもの成育」「将来の不安」、『職業』は「就労環境」「就労の相談」に「保育園」、主な意見は、保育園に入園する際、区や市ととてももめました。もっと障害がある子供が入れる保育園を増やしてほしい。「介護ヘルパーの情報として、最近着衣の汚れがひどいとのこと。」「友人に子供の行動や目つきが悪いと言われ、気になるがどこに相談すればよいのか?」「子どもの身体の変形が進んできて心配。」「療育相談では、

「重症心身障害者専用の相談窓口を設置してほしい。」「医療ケア児で、少しづつ歯が生えて来ていて、口腔ケアの重要性を歯科医師から言われたが、口をずっと開いていられない子の口腔ケアは大変。経験上のアドバイスを求め。」「地域の小学校へ入学するため何をしたらいいか?」

## 職業

高等部卒後の就労先を選択する場である体験学習(地区によって名称異なる)先が少なさ(3件)と職員の質(コミュニケーション力不足)(5件)、今の職場(就労継続A型)からの将来について(2件)と幅広くありました。また、放課後等デイサービスから卒業後の生活介護事業所通所で帰宅時間が早いため親の就労に制約が生じて困っている相談がありました。主な意見は、「現在高2ですが、生活介護になると帰宅が早いと聞いています。もう少し長く活動できる時間があると本人も楽しく生活できると思います。」「卒業に向けて進路を決めなくてはならないが、少ない日数(実習が)や、少ない件数の中で決めるのはとても不安。」「子ども

は就労継続A型に通所して10年目ですが、この先のことや心配です。たまにしんどくなるようで他に移ったほうがいいのか考えている。」

次に前述したその他について

## その他

### 【COVID-19】

『COVID-19(新型コロナウイルス)』に寄せられた相談は、①感染症に対する恐れに関する情報不足、②親子が感染した時の対応、④生活介護事業所、居宅介護等の利用制限から生じる疲労、負担、⑤面会ができないこと、⑥短期入所・レスパイト入院の利用制限等の日常生活の制限について多く、主な意見は次のとおり。

「父親がコロナに感染し、数日後に子どもが感染してしまった。気を付けながら介護していたが、最後は母親も感染してしまった。ヘルパーさんも訪問看護も受けられず、母親の症状が軽かったのかか介護できたが、約1か月間大変な日々だった。」家族がコロナ感染したが、対象児を家族の代わりに見てもらえるところはありますか?」

「コロナにかかることが心配で焦り等から、障害のある本人に対して言葉や介護が荒くなってしまった。」「施設入所をした娘との面会が、コロナが落ち着いた2回ほど対面で叶ったが、再びの感染者増加でオンライン面会となってしまった。対面での面会では、立たせて歩かせたり、ケーキを差し入れて一緒に食べたりした。年末の帰宅も叶わないようだ。お正月ぐらい一緒に過ごしたいが……↓施設に問い合わせるが管理上叶わないとの返事。」「コロナ禍で、本人の楽しみがほとんど奪われて、生活の質が著しく低下してしまった。」

運動についても介助がなければ出来ないで、運動の機会が激減してしまい、体力がなくなってしまう。」「コロナ禍で3年間短期入所の利用ができていない。状況が良くなれば利用したいと思うが、利用にあたっては荷物がとても多いので大変。胃ろうに必要なもの、おむつ、薬などものすごい量になる。また遠い(七沢)ので連れて行くのも大変。」「コロナウイルスについて、障害者に対応してもらえない連絡窓口があれば良いなと思いました。各種施設の対応もまちまちできちんとした基準があればと思いました。」「コロナ感染

クラスターが発生。通所施設休止。1か月あまりの自宅待機の大変さを改めて痛感。「5回目のコロナワクチン接種をするかどうか悩む。今まで接種後、副反応で入院をしたが、基礎疾患があることを考えると接種したほうが良いのか？ 主治医と何度か相談する。」など多数の相談があった。

## 【医療】

重症心身障害児に対応できる病院、疾病専門に診てくれる病院がない（9件）、18歳以降のかかりつけ医（医院のバリアフリー化を含む）を探す・連携（12件）、コロナ禍における診療体制の説明を含む（3件）、医療過誤の相談先（4件）、重度心身医療費の償還払い（2件）（基本的には地方自治体で決められる）、吸引チューブ・注入ボトルの支給数が病院により異なるなどの相談の他症状・疾病に関する相談が医療の44%を占めている。主な意見は、「今は小児科にかかれています。小さい頃からの様子もわかってきているので安心ですが、成人になったあとの病院のかかり方が不安です。かかる病気以外の特性も理解してもらおうため不安がつる。」「年齢が高くなるとともに医療機関の診察が増える。通院

ヘルパーの利用を認めてほしい。」「かかりつけの病院が小児科のため、18歳以降にかかる病院について」「歯科センターのような障害専門の病院スタッフとどうか対応できる方がある病院があったらなあ。かかりつけの病院があれば良いが無い場合など大きな設備の整った病院などへかかりつけの医師から繋げられる仕組みがあれば安心である。」「医療的ケアがあり、吸引チューブや注入ボトルがないと生活できません。しかし病院によってこれらの物品の支給数が違い、支給されない病院もあります。実費での負担は金銭的にもきつく、ネット利用できないと買う場所にも困ります。病院ではなくその子の医療ケアの用途に合わせ、おむつのようにわかりやすい形で支給してほしいです。」

## 【災害】

令和3年5月に災害対策基本法が改正され、個別避難計画の作成が市町村自治体の義務とされ、避難所外でも救援（支援）物質を受け取ることができるようになりました。指定避難所で障害特性に合わせて避難スペースを設ける訓練している地域もあります。災害の相談7割が避難に関する意見。重度

ます。

②計画に基づく災害時避難個別支援会議（仮称）や災害時個別支援計画に基づいた訓練実施の推進をお願いします。「災害時の個別支援計画について、どのように作成すればいいのかわからない。」

## 【バリアフリー化・トイレ】

外出先（商業施設、公園、駅）のトイレに介護用ベッドの設置・車椅子転換スペース（5設ける相談、そして住宅のバリアフリー化の助成（3件）などがありました。

主な意見は、「障がい者用トイレで男子用・女子用でそれぞれあるところがありますが、自分で使用できる方はいいのですが、異性の障害者を介護する場合、入るのをためらいます。共通なトイレならと思うことがあります。」「二人体制での介護が必要でヘルパー事業所から派遣してもらっているのだが、リフトを使ってほしいと言われて、市に申請したが「自宅でないと言われて、自立ハウスを施設と勘違いしているかも知れない。」「障害者用トイレはあるが、介護用ベッドが無いところが多い。もっと増やしてほしい。」

## 【制 度】

18歳までの費用負担が親の所得制限はおかしい。日常生活用具のレンタル（例・昇降機）（2件）

保育所、幼稚園、学校等で医療的ケア児の受入体制整備、重度心身障害児の評価（動ける重心児、大島分類）についての意見。主な意見は、「障害者手帳のみの者の送迎に使用する車についても、名義変更が不要になってほしいと思います。」

療育手帳所有者は変更不要であるのに対し、障害者手帳のみの者でも知的障害との重複者が多くを占めています。主治医等からの意見書で本人の状態を判断してほしいと思います。「重度障害者施設は終の棲家ではなく、地域で暮らす準備をする場」と方針を出していますが、現状重度の障害者は地域手暮らすための受け皿がなく、とりわけ医療的ケアの必要な障害者にとって今の介護制度では24時間介助のための財政的な支援が受けられません。「家族が介護すること」が前提の日本の制度では親が高齢になった時、亡くなった後、地域でのグループホームで暮らしていただけるのでしょうか。」

## 【父母の会活動】

会員の高齢化で定期的にリハを目的とした事業、父母の会活動の基本である保護者との交流できる場を作るなどの工夫をしなければ会員の減少（6件）の懸念があるとの意見。一方、時間に余裕が出てきたので活動に参加したい、先輩からアドバイスを受けたいとの意見がありました。

主な意見は、「自分たちが受けている差別などについて今まで我慢が当たり前だったので、アピールできるように私たちの勉強の機会が必要だと思う。」「保護者と交流できる場がほしいです。話し相手がほしいです。」「年々会員（父母の会の）が減ってしまってくることで、どのようにしたらよいでしょうか。」「先輩のお母さん達からいろいろ話を聞きたい。アドバイスを受けたい。」

## 【成年後見制度】

何時から利用し、どれだけの費用が掛かるのか、どのようなことまでしていただけるのか等「成年後見制度」の内容を分かりやすく知りたいとの意見がありました。主な意見は、「親一人子一人で働かないといけないから、預けて作業所に行っている（子ども）。子ども

ものためにといい預金してやっているが、後見人をお願いすれば毎月多額のお金を支払わなければならないし、子どもが管理する程能力がないし、信用しないわけじゃないが、やはり自分が亡くなった後とても心配。」「成年後見制度」について詳しく知りたい。説明会の開催など期待いたします。」「成年後見制度について。変更できないこともあり、どの人に決めていいのかが迷う。迷うまま時間が過ぎてしまいう。」

## 【人材】

サービス利用で支援員不足（4件）、コミュニケーション不足（5件）を補う養成（2件）等と人材不足にかかわる相談が寄せられた。

主な意見は、「ヘルパーの養成や、介護士の養成などに障害児者についての講義をしてほしい。事業所や施設の職員が増えるのでは。」「ヘルパーの高齢化。移動支援の2人支援が必要な利用者が多くなり、利用したときに空きがない。」「支援員不足。ここ数年、男性支援員が3名↓2名となっていて、い、所長は相談員と兼務のため常勤職員はなし。女性職員で何とか事業を行っている。グループホームも人手不足

で、金土日の利用ができていない。」

「2022相談」から生活全般分野に課題、悩みが寄せられている。令和5年は、「障害計画」「障害福祉計画」と「障害児計画」の見直し時期であり、令和6年の報酬改定の前年でもあり諸活動の大切な一年となる。これらの改定等に積極的にかかわることが、サービスの量の制限の改善、身近な生活支援策の構築になると思います。また、全ての分野において「情報」を求めていることは、全肢連からの情報発信の努力がまだまだと感じ、一層の取り組みと共に、寄せられた相談内容を心身障害児者に関する予算要望に生かしていきたいと考えています。

（文責 副会長 石橋）

# 令和4年度 事業報告

## 事業1

肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

### ① 全国大会・ブロック大会の開催

- ◇ 第55回全国大会（第57回東海北陸ブロック大会愛知大会併催）  
9月10日 愛知県 ロワジールホテル豊橋
- ◇ 第32回北海道ブロック大会  
10月8日 旭川市 旭川市障害者福祉センター
- ◇ 第40回東北ブロック大会 秋田県 延期
- ◇ 第59回関東甲信越ブロック大会  
6月25日 長野県 須坂市技術情報センター（ハイブリッド開催）
- ◇ 第56回近畿ブロック大会  
11月6日 滋賀県 守山市民ホール
- ◇ 第52回中国四国ブロック大会  
島根県（大会記念誌発行）
- ◇ 第38回九州ブロック大会  
10月30日 長崎県 ミライオン図書館（ハイブリッド開催）

### ② 総会、理事会など各種会議の開催

関係諸団体との連携

- (1) 通常総会（全国会長・事務局長会議） ハイブリッド開催  
5月14日 東京都豊島区IKE・Biz
- (2) 理事会・監事会の開催  
第1回 ハイブリッド開催  
5月14日 東京都豊島区IKE・Biz
- 臨時理事会 8月20日 オンライン開催
- 第2回理事会 令和5年3月17日 東京都豊島区IKE・Bizハイブリッド開催
- 監事会 令和5年5月17日 東京都豊島区 全肢連事務局

## 事業2

肢体不自由児者福祉に関する 社会的啓発事業

### ① 機関誌、情報誌等の発行

- ・「いずみ」の発行  
157号／158号発行
- ・「わ」の発行  
144号発行
- ・「全肢連情報」の発行  
Vol.759～Vol.770

### ② インターネットによる情報の集散

## 事業3

支部父母の会育成強化に関する 知識の普及と助成事業

知識の普及と助成事業

### ① さわやかレクリエーション

79件（内定86件（中止7件））

### ② 療育キャンプ

・日帰り 広島県・滋賀県

### ③ 地域指導者育成セミナーの開催

・全国6カ所 北海道、岩手県、千馬県、愛知県、奈良県、福岡（山口県中止）

### ④ アステラス製薬フライングスター基金の受贈

アステラス製薬 令和4年度フライングスター基金 「車椅子送迎用車」の贈呈（千馬県、神奈川県、島根県、宮城県）

### ⑤ 第2回あーと展覧会2022

- ・募集期間…令和4年5月～10月11日
- ・応募数…315作品
- ・受賞作品…39作品
- ・Web展覧会…全作品をホームページ上に展示
- ・展示期間…令和5年1月10日～12末迄

## 事業4

肢体不自由児者と家族の 生活の質を高める事業

生活の質を高める事業

### ・各種イベント事業

- (1) チャリティイベントの開催  
・Lee 富鉄税理士事務所主催 親子昼食会  
10月29日 ヨコハマ・グランドインタールコンチネンタルホテル
- (2) コカ・コーラ社とのコラボレーション事業（再掲）

### ・さわやかレクリエーション

・機関誌「わ」の発行  
・あーと展覧会



# 令和4年度収支決算報告

## 収支決算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(収入の部)

単位 円

大科目	中科目	令和4年度予算案	決算額	増減額
会費収入	分担会費	4,500,000	4,915,000	△ 415,000
	賛助会費	500,000	550,000	△ 50,000
	会費収入合計	5,000,000	5,465,000	△ 465,000
寄付・助成金収入	療育事業助成金収入	4,000,000	4,000,000	
	渉外活動協賛収入	0	-	0
	公益財団助成金収入	5,999,000	2,545,696	3,453,304
	公益財団助成金収入	900,000	538,743	361,257
	公益財団助成金収入	3,270,000	3,270,000	0
	自販機還元金収入	21,000,000	21,659,702	△ 659,702
	寄付金収入	300,000	200,000	100,000
	寄付・補助金等収入合計	35,469,000	32,214,141	3,254,859
その他の収入	特別会計繰入金	3,445,500	-	3,445,500
	参加者負担金	2,165,000	191,700	1,973,300
	その他の雑収入	50,000	96,400	△ 46,400
	受取利息	0	995	△ 995
	その他の収入合計	5,660,500	289,095	5,371,405
前期繰越収支差額		64,335,393	64,335,393	0
	合計	110,464,893	102,303,629	8,161,264

(支出の部) 一般会計・特別会計

事業費  (ハンドアーチェリー) (アートフォトコンテスト) (onlineコンサート)	全国大会・ブロック大会	3,800,000	2,711,521	1,088,479
	会長・事務局長会議費	1,500,000	1,261,239	238,761
	会長・事務局長会議	-	-	0
	理事・監事会費	1,200,000	440,103	759,897
	〃	100,000	-	100,000
	通信事業費	1,200,000	1,507,202	△ 307,202
	広報印刷費	800,000	470,100	329,900
	全肢連情報発行費	550,000	281,608	268,392
	広報宣伝費	100,000	-	100,000
	障害福祉研修会費	-	-	0
	印刷費	200,000	-	200,000
	全国交流費	-	-	0
	文化芸術費	1,000,000	739,447	260,553
	音楽フェスタ費	300,000	-	300,000
	通信運搬費	300,000	153,717	146,283
	渉外費	100,000	101,575	△ 1,575
	組織強化費	400,000	364,472	35,528
	全肢連育英事業	200,000	-	200,000
	諸会費(分担金支出)	250,000	310,000	△ 60,000
	補助事業拠出金	3,445,500	-	3,445,500
	自販機管理運営費	600,000	868,807	△ 268,807
	自販機設置報償費	300,000	30,000	270,000
	60周年記念事業費	700,000	-	700,000
	事業費合計	17,045,500	9,239,791	7,805,709

令和4年度収支決算報告

【1-特別会計・療育（親子ふれあい）事業】				0
さわやかレクリエーション	父母の会助成事業	4,790,000	4,503,004	286,996
1-特別会計合計	療育事業費合計	4,790,000	4,503,004	286,996
【2-特別会計・療育（JKA）事業】				0
指導誌等啓発事業	指導誌発行費	0	-	0
	機関紙発行費	1,184,000	884,692	299,308
療育訓練事業	療育キャンプ費	1,568,000	362,351	1,205,649
療育研修費	育成セミナー費	6,689,000	5,137,383	1,551,617
2-特別会計合計	療育事業費合計	9,441,000	6,384,426	3,056,574
【3-特別会計・療育（全国福祉財団）事業】				0
療育訓練事業	療育キャンプ費	562,000	-	562,000
療育相談事業	相談事業費	606,000	689,174	△ 83,174
療育研修費事業	研修事業費	90,500	-	90,500
3-特別会計合計	療育事業費合計	1,258,500	689,174	569,326
【4-特別会計・調査（日本財団）事業】				0
調査事業		4,290,000	3,723,410	566,590
4-特別会計合計	調査事業合計	4,290,000	3,723,410	566,590
	特別会計合計	19,779,500	15,300,014	4,479,486
	事業費合計	36,825,000	24,539,805	12,285,195
管 理 費	給 料 手 当	9,000,000	7,459,930	1,540,070
	法 定 福 利 費	1,450,000	596,794	853,206
	福 利 厚 生 費	150,000	283,481	△ 133,481
	会 議 費	30,000	-	30,000
	旅 費 交 通 費	340,000	142,737	197,263
	通 信 運 搬 費	100,000	8,533	91,467
	消 耗 品 費	200,000	311,070	△ 111,070
	賃 借 料	2,500,000	2,247,800	252,200
	リ ー ス 料	560,000	879,849	△ 319,849
	備 品 費	100,000	105,542	△ 5,542
	水 道 光 熱 費	150,000	195,367	△ 45,367
	修 繕 費	50,000	-	50,000
	諸 謝 金	1,200,000	1,375,000	△ 175,000
	公益社団申請手数料	1,000,000	220,000	780,000
	租 税 公 課	70,000	70,400	△ 400
	諸 会 費	20,000	-	20,000
	保 険 料	20,000	22,660	△ 2,660
	慶 弔 費	30,000	33,000	△ 3,000
	雑 費	300,000	566,113	△ 266,113
	職 員 退 職 金	0	-	0
	管理費合計	17,270,000	14,518,276	2,751,724
特定預金支出	60周年記念事業費	0	-	0
	全肢連育英基金	50,000,000	50,000,000	0
	退職給付費用	240,000	140,000	100,000
	特定預金支出合計	50,240,000	50,140,000	100,000
予 備 費	予 備 費	100,000	-	100,000
	予備費支出合計	100,000	-	100,000
次期繰越収支差額		6,029,893	13,105,548	△ 7,075,655
	合 計	110,464,893	102,303,629	8,161,264

# 令和5年度 事業計画

## 【事業計画の基本方針】

令和5年度も、新型コロナウイルス感染症が終息していませんが、工夫を重ね継続事業の着実な実行と新規事業の研究、全国大会やブロック大会、研修会並びに、様々なツールを活用した情報収集と発信。助成事業の活用と関係団体や企業とのコラボレーション事業などを通じて、一般社団法人として事業全体の強化と充実を図る。

具体的には「肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業」、「肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業」、「地域父母の育成強化に関する知識の普及と助成事業」、「肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業」の4事業を柱に実施する。

## 【事業概要】

### 事業1 肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

#### 1. 趣旨(目的)

全国の会員から出された意見・要望を集約して、中央行政機関、各地域福祉行政に対し実情のアピールと、政策提言を行うとともに、肢体不自由児者に対

する総合的な調査研究を通じ、肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくることを目的とする。

#### 2. 事業(内容、方法等)

##### (1) 全国大会並びにブロック大会の開催

地域間の格差を解消し、全国的な意見の集約・提言、地域の現況把握、行動指針の確認等を行う場として全国大会・ブロック大会を開催する。その際、全国大会は、各ブロック持ち回りであることからマニュアル等作成するとともに、ブロック大会では遠方会員に配慮することも必要である。

※各大会で寄せられた意見提言は全国会員が共有できるように全肢連ホームページを充実・活用する。

##### ① 令和5年度全国大会・ブロック大会の開催日程

◇ 第56回全国大会(第53回中国四国

ブロック大会岡山大会併催)

8月4日(金)～5日(土)

岡山県岡山市コンベンションセンター

◇ 第33回北海道福祉大会

9月30日(土)

札幌市 かでる27

◇ 第40回東北ブロック大会

10月7日(土)～8日(日)

秋田県 あきた芸術村

◇ 第60回関東甲信越ブロック大会

7月1日(土)

栃木県 とちぎ福祉プラザ

◇ 第58回中東海北陸ブロック大会

6月10日(土)～11日(日)

静岡県 ホテルコンコルド浜松

◇ 第56回近畿ブロック大会

10月14日(土)

兵庫県 アクリエ姫路

◇ 第39回九州ブロック大会

10月28日(土)

佐賀県 大正屋

##### ② 全国大会開催予定について(日程等調整も含む)

◇ 令和6年(第57回)

9月14日(土)～15日(日)

奈良県 なら1000年会館

◇ 令和7年(第58回)

北海道ブロック

##### (2) 総会、理事会、専門委員会、研修会など各種会議の開催。関係諸団体との連携

総会、理事会、専門委員会等、各種会議を開催して、地域の情報の集散と情報提供を行うとともに、各種の研修会を開催して、知識の研鑽、意見集約、地域父母の会の活性化に繋げていく。

##### ① 令和5年度総会・理事会の開催日程

◆ 通常総会(全国会長・事務局長会議)

5月27日(土) IKE・Biz

◇ 第1回理事会

5月27日(土) IKE・Biz

◇ 第2回理事会

令和6年3月中旬(予定) 東京都内(会場未定)

##### ② 講演会、研修会の開催

◇ 講演会・各種研修会の実施未定

## 事業2

### 肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

#### 1. 趣旨(目的)

肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発のため、様々な媒体を通して公益性を高める広報事業や印刷物の出版等を行う。あわせてインターネットによる情報発信を行う。

#### 2. 事業(内容、方法等)

(1) 機関誌、広報誌、情報誌等の発行

・「いずみ」の発行(年2回)

159号(6月20日発行)

160号(12月20日発行)

・「わ」の発行(年1回)

145号(3月20日発行)

・全肢連情報(月1回)

毎月15日とし必要に応じ臨時の発行を行う。

・その他印刷物の出版

・その他印刷物の出版

(2) インターネットによる情報の集散

◇全肢連ホームページの拡充

・全肢連ホームページ

<http://www.zenshiren.or.jp/>

・都道府県肢連ページの充実

◇各地域の活動に関する相互交流と啓発の場として最新情報の発信などを行う。

### 事業3

#### 支部父母の会育成強化に関する

#### 知識の普及と助成事業

#### 1. 趣旨(目的)

地区父母の会の育成、活性化を図り知識の普及と助成を行うためこの事業を行う。

#### 2. 事業(内容、方法等)

(1) 地域父母の会で実施する療育事業等への助成

地域の肢体不自由児者父母の会の発展と障害者福祉の向上に寄与し、地域住民の障害者に対する理解増進、支援の輪を広げることにより、もって社会基盤の整備に貢献する事を目的に、以下の事業を展開するとともに助成を行う。

① さわやかレクリエーション事業(コ

カ・コーラ社助成事業)

(a) 事業の目的

さわやかレクリエーション事業は、「ふ

れあいの輪を広げるキャンペーン」

の一環事業として障害児者とその家

族が地域住民やボランティアなどと

の交流を深め、リフレッシュを図る

とともに、父母の会の活性化に繋がる

事業、障害児者の社会参加活動の一助となる事業として、コカ・コーラシステムから支援をいただき療育事業として助成されてきた。

(b) 助成対象者

都道府県肢連(支部、地域父母の会を含む。但し県肢連を通して申請)が実施する行事や事業。

(c) 実施対象期間

令和5年6月～令和6年1月の期間に実施すること。この期間以外は対象外とする。

(d) 助成対象内容・助成限度額

助成金は総事業予算の75%以内かつ、1件につき5万を限度とする。但し、総事業費が助成金限度額に満たない場合は事務局内で査定を行い、助成金額を決定する。

(e) 実施予定件数

申請受付件数87件

助成内定数83件

助成金内定額400万円(予定)

■ 対象事業となるテーマ

・ スポーツや芸術活動への参画等への支援事業

アスリートスポーツ(公式競技)に限らず、障害があっても参加できるスポーツの企画・実施、障害者の芸

術・文化活動の普及支援事業(人材

育成や、モデル事業、創作体験の振

興など)、ポッチャ等、肢体不自由児

者が対象の競技スポーツ体験会への

参加など、よってスポーツや芸術の

推進を図る。  
・ 地域住民と考える様々な災害への備え(自助・共助への取組みの推進)等への支援事業。

様々な自然災害(地震、台風、豪雨・

豪雪、他)への備えに対して、地域

住民や学校、施設や医療機関、ボラ

ンティアグループ等と協同で「防災

対策・災害対策への認識共有、受援

力の向上」を目的とした機会を設けお互いに考える場、ネットワークの構築など、地域連携支援モデル事業の実施。

・ レジャー活動、会員間の親睦、レク

リエーション、外出の機会等への支援事業  
既存の会員や支援者との親睦、コミュニケーション推進を図ることを目的としたレジャー活動や旅行、娯楽施設の見学やスポーツ観戦など、レクリエーション全般を対象とする。ただし継続される行事、事業であってもプログラムの中に新たな試み等が含まれる内容とする。

(a) 事業の目的

「日本博を契機とした障害者の文化

芸術フェスティバル」を契機に、全

肢連では文化・芸術を通し障害児者

や家族が、多くの人に自分の作品や

パフォーマンスをみてもらう喜び、一つの作品を完成させることで味わう達成感。生きがいや楽しみを見つけるきっかけ作りになると考える。

全国特別支援学校や事業所から参加

を得るとともに作品を募集すること

で全肢連を知ってもらう機会となり

新規会員獲得に繋げる。

(b) 対象者

全国特別支援学校、事業所、父母の会会員

(c) 募集期間

令和5年6月～9月30日

(d) 事業内容

・ 対象作品…絵、書道、コンピュータアート、フォト、工作等

・ 選考方法…審査委員会

・ 選考結果…令和5年11月(予定)

・ 展覧会…令和6年1月～5月末(予定)

・ ホームページ上で全作品を展示

・ その他…入賞作品を用いてカレンダー

作成。入賞者へは賞状・副賞を贈呈

・ 全国の福祉自動販売機への入賞作品

掲載

③ 療育キャンプの実施

JKA補助事業・全国心身障害児者福祉財団補助事業として、地域父母

の会を対象に療育キャンプへの助成を行う。

- ・日帰り 3地域 未定
- ・1泊2日 2地域 未定

#### ④地域指導者研修会の開催

JKA補助事業「地域指導者育成セミナー」を実施、助成する。

◇テーマ 障害児者と家族、支援者のための研修事業「成年後見制度の活用について」(仮題)

・全国7カ所で実施

北海道ブロック

6月17日(土)～18日(日)

北海道札幌市 かでる2.7

東北ブロック

9月9日(土)～10日(日)

青森県弘前市 星と森のロマンピア

関東甲信越ブロック

10月21日(土)～22日(日)※予定

群馬県前橋市

東海北陸ブロック

9月30日(土)～10月1日(日)

静岡県静岡市 静岡県総合社会福祉会館

近畿ブロック

11月25日(土)

大阪府大阪市 男女共同参画・青少年センター

中四国ブロック

10月14日(土)～15日(日)

島根県松江市 松江ニューアークホテル

九州ブロック  
12月2日(土)～3日(日)  
鹿児島県鹿児島市 宝山ホール

#### ⑤障害児者と家族の生活相談事業

・全国心身障害児福祉財団補助事業  
「入所・在宅など生活相談」を実施、助成する。

#### ⑥アステラス製薬 令和5年度フライングスター基金 「車いす送迎車」の寄贈

・推薦受付期間  
令和5年4月26日(水)～令和5年6月16日(金) 原本必着(郵送)

寄贈車両4台(普通車輛3台、軽車輛1台 車種は未定)

※推薦要綱等、詳細は送付済

#### ⑦障害児者福祉増進事業 (全国肢体不自由児者福祉育英基金)

障害児者福祉増進事業にあつて、団体・個人の事業で他の範となる取り組みに対し助成する。

### 事業4

#### 肢体不自由児者と家族の

#### 生活の質を高める事業

#### 1. 趣旨(目的)

肢体不自由児者の福祉増進を目的として、その目的を達成するために公益性のある必要な事業を実施する。

#### 2. 事業(内容、方法等)

##### (1)生活の質を高める各種事業

在宅を余儀なくされる障害者やその家族のために、生活の質の向上、社会参加の一助となり、生きがいのある充実した生活を営める、各種イベント等への招待事業を企画、実行するとともに、それを支えるボランティアや支援者の育成を図る。

##### ①チャリティ・パーティーの開催(関東 県肢連とのコラボレーション)

Lee 富鉄税理士事務所主催クリスマスパーティー

##### ②コカ・コーラ社とのコラボレーション事業

(1) 各都道府県肢連、地域父母の会での自動販売機設置について。  
公共施設、企業等への働きかけについての説明

・都道府県肢連所在地のコカ・コーラ工場視察とふれあいのイベント  
(2) 和やかレクリエーション@サンシヤイン水族館(関東都県肢連とのコラボ事業)

・招待事業の企画、実施とボランティア、支援者の育成、会員拡充

・募集期間…令和5年9月～10月 (予定)

(予定)

・開催…令和5年11月(予定)  
・会場…東京都豊島区 サンシヤイン水族館(サンシヤイン60)

### 事業5

#### 重度障害者対応共同生活援助の支援体制の在りかたに関する調査事業

(日本財団補助事業)

令和4年度の調査は重度障害に視点をあて当事者(家族等)、GH運営事業者、自治体に対し障害当事者からは将来に向けた住まいのあり方、市区町村の重度訪問介護サービスの支給時間とGHの整備状況を重点に調査。

令和5年度は都道府県に対し障害福祉サービスに係る国庫負担基準を超過した市町村の利用促進市町村支援事業、相談支援事業所を対象にサービス等利用計画作成に関わり必要とするサービス給付の状況、相談支援事業所の運営課題と相談専門支援員の処遇及び研修に関する実情、GH指定権者の都道府県・政令市等に整備助成等条例化の有無、待機者の状況、重度障害者の利用要望者の把握と対応方針(計画)の考え方、全肢連会員の住む自治体を中心に調査を継続する。令和6年4月に改正される第7期障害福祉計画、障害福祉サービス等報酬改定、障害者の居住支援(GH等)に反映させることを目標にする。

# 令和5年度収支予算 (案)

## 令和5年度予算案

令和5年4月1日～令和6年3月31日

### (収入の部)

大科目	中科目	令和5年度予算案	令和4年度予算案	増減額	摘要
会費収入	分 担 会 費	4,500,000	4,500,000	0	47 都道府県肢連
	賛 助 会 費	500,000	500,000	0	BJI (全国大会)
	会費収入合計	5,000,000	5,000,000	0	
寄付・助成金収入	療育事業助成金収入	4,000,000	4,000,000	0	CCBJI さわやか
	渉外活動協賛収入	0	0	0	CCJI
	公益財団助成金収入	6,445,000	5,999,000	446,000	JKA 財団補助
	公益財団助成金収入	1,300,000	900,000	400,000	全国福祉財団
	公益財団助成金収入	3,290,000	3,270,000	20,000	日本財団助成
	自販機還元金収入	21,000,000	21,000,000	0	自販機
	寄 付 金 収 入	300,000	300,000	0	協和30
	寄付・補助金等収入合計	36,335,000	35,469,000	866,000	
その他の収入	特別会計繰入金	0	5,610,500	△ 5,610,500	JKA/福祉・日本財団
	参加者負担金	2,336,000	0	2,336,000	JKA/福祉財団
	その他の雑収入	30,000	50,000	△ 20,000	機関紙他会費
	受 取 利 息	0	0	0	
	その他の収入合計	2,366,000	5,660,500	△ 3,294,500	
	収入合計	43,701,000	46,129,500	△ 2,428,500	
前期繰越収支差額		13,105,548	64,335,393	△ 51,229,845	
	合 計	56,806,548	110,464,893	△ 53,658,345	

### (支出の部) 一般会計・特別会計

事業費  (アートフォトコンテスト) (online コンサート)	全国大会・ブロック大会	2,800,000	3,800,000	△ 1,000,000	岡山県・6ブロック
	会長・事務局長会議費	1,500,000	1,500,000	0	全国総会交通・会場費他
	定例理事会他会議費	600,000	1,300,000	△ 700,000	理事会等交通費他
	旅 費 交 通 費	600,000	-		役員・事務局交通費他
	通 信 事 業 費	1,200,000	1,200,000	0	PC・HP 運営管理費
	広 報 印 刷 費	800,000	800,000	0	「わ」1回/年・郵送費
	全肢連情報発行費	600,000	550,000	50,000	A4×500部/12回・郵送費
	広 報 宣 伝 費	100,000	100,000	0	看板・ラミネート
	印 刷 費	300,000	200,000	100,000	全肢連案内・封筒
	文 化 芸 術 費	1,000,000	1,000,000	0	募集・カレンダー・報償
	音 楽 フ ェ ス タ 費	0	300,000	△ 300,000	コンサート・1回
	通 信 運 搬 費	300,000	300,000	0	全肢連情報他
	渉 外 費	100,000	100,000	0	渉外関連
	組 織 強 化 費	400,000	400,000	0	ブロック助成他
	全肢連育英事業	500,000	200,000	300,000	一般会計から仮払い
	諸会費(分担金支出)	200,000	250,000	△ 50,000	全社協会費他
	補助事業拠出金	0	3,445,500	△ 3,445,500	JKA/福祉・日本財団
	自販機管理運営費	360,000	600,000	△ 240,000	還元金清算他
	自販機設置報償費	200,000	300,000	△ 240,000	報償費
	60周年記念事業費	700,000	700,000	0	記念誌発行
	事業費合計	12,260,000	17,045,500	△ 4,785,500	

【1-特別会計 親子ふれあい事業】				0	BJI協賛事業	
さわやかレクレーション 和やかレクレーション	父母の会助成事業	4,800,000	4,790,000	10,000	77か所	
	親子ふれあい事業	450,000		450,000	サンシャイン水族館	
	療育事業費合計	5,250,000	4,790,000	460,000		
【2-特別会計 JKA助成事業】				0	JKA助成事業	
指導誌等啓発事業 療育訓練事業 療育研修費	指導誌発行費	0	0	0	いずみ3000部/2回・送料	
	機関紙発行費	1,163,000	1,184,000	△ 21,000		
	療育キャンプ費	1,633,000	1,568,000	65,000	ブロックセミナー	
	育成セミナー費	7,122,000	6,689,000	433,000		
療育事業費合計	9,918,000	9,441,000	477,000			
【3-特別会計・療育（全国福祉財団）事業】				0	全国福祉財団事業	
療育訓練事業 療育相談事業 療育研修費事業	療育キャンプ費	562,000	562,000	0	親子ふれあいキャンプ	
	相談事業費	1,006,000	606,000	400,000	父母の会会員	
	研修事業費	110,500	90,500	20,000		
	療育事業費合計	1,678,500	1,258,500	420,000		
【4-特別会計・調査（日本財団）事業】				0		
調査事業	調査事業	4,120,000	4,290,000	△ 170,000		
	事業合計	4,120,000	4,290,000	△ 170,000		
	特別会計合計	20,966,500	19,779,500	1,187,000		
	事業費合計	33,226,500	36,825,000	△ 3,598,500		
管 理 費	給料手当	8,000,000	9,000,000	△ 1,000,000	理事会等	
	法定福利費	1,450,000	1,450,000	0		
	福利厚生費	150,000	150,000	0		
	会議費	30,000	30,000	0		
	旅費交通費	340,000	340,000	0		
	通信運搬費	100,000	100,000	0		
	消耗品費	200,000	200,000	0		事務用品費
	賃借料	2,500,000	2,500,000	0		事務所
	リース料	600,000	560,000	40,000		コピー機、PC、電話
	備品費	250,000	100,000	150,000		
	水道光熱費	150,000	150,000	0		
	修繕費	50,000	50,000	0		
	諸謝金	1,200,000	1,200,000	0	税理士・弁護士報酬	
	公益財団申請手数料	200,000	1,000,000	△ 800,000	公益財団申請	
	租税公課	70,000	70,000	0	均等割住民税	
	諸会費	30,000	20,000	10,000		
	保険料	20,000	20,000	0	火災保険、職員傷害保険	
慶弔費	30,000	30,000	0			
雑費	200,000	300,000	△ 100,000	振込手数料他諸雑費		
管理費合計	17,270,000	17,270,000	△ 1,700,000			
特定預金支出	60周年記念事業費	0	0	0		
	全肢連育英基金		50,000,000	△ 50,000,000		
	退職給付費用	240,000	240,000	0		
特定預金支出合計	240,000	50,240,000	△ 50,000,000			
予 備 費	予 備 費	100,000	100,000	0		
	予備費支出合計	100,000	100,000	0		
支出合計		49,136,500	104,435,000	△ 55,298,500		
次期繰越収支差額		7,670,048	6,029,893	1,640,155		
合 計		56,806,548	110,464,893	△ 53,658,345		

# 第56回 全国肢体不自由児者父母の会連合会 全国大会 第53回 中国四国肢体不自由児者父母の会連合会 岡山大会 開催案内

## 大会テーマ

### 「住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現!」 ～障害者理解を進め、本人も家族も生き生きとした人生を送るために～

## 趣 旨

「お父さんお母さんは自分の人生を楽しめていますか。私たちは介助がなければ生きていくことは難しいです。現実問題として介助をしてもらわなければ困りますが、介助が全てであるような人生を送ってほしくありません。」「私たちは肢体不自由と呼ばれているけれど、一人ひとり身体の状態、出来ること、苦手なことは違い、それぞれみんなが違うことを知ってほしい。」

このような本人たちの声を参考にサブテーマを決めました。

文部科学省は令和7年度末までの整備目標として、要配慮児童生徒が在籍する全ての学校にエレベーターを設置することを発表しました。車椅子の子どもが校内を自由に移動する姿を想像するだけでワクワクします。肢体不自由児のファーストペンギンが普通小へ入学してから約40年。福祉制度、教育環境、移動環境等、さまざまな分野で肢体不自由児者が生きやすいように社会が変わってきているのは明らかな事実です。

しかし、階段で上り下りする飲食店に入ることができない、15cmの段差や間口の狭いアパートに住むことができない、地域によっては予約なしでバスや電車に乗ることができない、車椅子というだけで就職に不利など、時代の変遷に伴い新しい課題も顕在化してきていると思います。

講演・シンポジウムでは、支援者、本人、親、きょうだい、それぞれの立場で経験したこと、うまくいかなかった事例、うまくいった事例をお伝えしようと思います。

単なるお困りごとの羅列で終わることなく、未来志向型の提案を参加者全員で考えていけたらと思っています。

この社会の不自由さに気づいた私たちだからこそ提案できることがあるはずです。

本人や父母の会の先輩方の声で社会が少しずつ変わってきたように、今を生きる私たちも発信していきましょう。

出来ることの中からの選択に慣れてしまわないように、やりたいことに挑戦していきませんか。本人も家族も生き生きとした人生を送るために！

**開催日時** 令和5年8月4日(金)～5日(土)

**会 場** 岡山コンベンションセンター  
(岡山県岡山市北区駅元町14番1号 / TEL: 0532-48-3131)

## 申込受付

- **申込方法** インターネット(全肢連ホームページ <https://www.zenshiren.or.jp/>)  
もしくは、FAX(086-225-2771 名鉄鉄観光サービス(株)岡山支店)より申込みください。
- **申込期間** 令和5年6月1日(木)～6月30日(金)
- **大会参加費** 3,000円(税込み)



※QRコードよりweb申込可

※詳細については「大会参加申込のご案内」を確認ください。

# 第3回

# あーと展覧会 2023

## 作品募集



2022年度 入賞作品

- 対象** 障害のある方（年齢・障害種別は問いません）
- 作品** 絵画 書道 写真 イラスト コンピュータアート 木工 縫製 染色 陶芸 など
- 締切** 2023年9月30日（土）
- 審査** 審査委員会にて入賞作を選定の上、11月末頃全肢連HP等にて発表
- 応募** ホームページの応募フォームもしくはメールにてご応募ください  
※詳細は全肢連ホームページ、または学校・施設等にお配りしたチラシをご確認ください

問合せ先

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7 アルテール池袋 709  
TEL：03-3971-3666 FAX：03-3971-6079  
HP：<http://www.zenshiren.or.jp>

あーと展 特設ページ



# 令和5年度 さわやかレクリエーション開催予定一覧表

令和5年6月1日現在

都道府県	開催予定日	事業名	会場名	一般参加受入可否		
				無料	有料	不可
千葉県	5月1日～1月31日	新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難訓練	にじと風 他	○		
広島県	6月4日	1日帰り旅行	三次もののけミュージアム他			○
徳島県	6月7日～1月31日	オンライン・SNS活用で活動発進事業	徳島市生涯福祉センター他	○		
大阪府	6月8日	ランチ交流会	籠の屋 本店		○	○
大阪府	6月11日	ポッチャ&焼肉パーティー	箕面市立障害者福祉センターささゆり園		○	○
神奈川県	6月11日	会員交流 日帰りバス旅行『雨敬園』(サクランボ狩り)	山梨県『雨敬園』		○	
大阪府	6月16日	堺市父母の会「社会参加交流事業」	神戸市布引ハーブ園		○	○
京都市	6月19日	『地域共生、地域連携』活動支援	京都テルサ(及びオンライン)			○
岐阜県	6月24日～25日 or 7月8日～9日	障害児者の社会見学	バンテリンドーム ナゴヤ			○
徳島県	7月～11月	地域に貢献! 出前バリフリBOX	みはらしの丘あいさい広場 他、学校や公民館	○		
大阪府	7月4日	親・家族交流会	旧桜宮公会堂		○	○
岩手県	7月6日	レジャー活動・余暇活動	岩手県勤労身体障がい者体育館	○		
島根県	7月8日	会員、支援者との交流事業(カローリング大会)	東部島根医療センター			○
沖縄県	7月9日	バーベキュー交流会	オリオンECO美らSUNビーチ		○	
岡山県	7月17日	講演会とeスポーツの体験会	ライフパーク倉敷	○		
愛知県	7月30日～31日	愛肢連 西尾張ブロック連絡協議会 野外療育キャンプ	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、海遊館			○
滋賀県	8月予定	親子療育キャンプ	セトレマリーナ琵琶湖		○	
神奈川県	8月1日	日帰りバス旅行	山梨県			○
東京都	8月17日	心とからだのリフレッシュ講習会「音楽療法」	梅丘パークホール	○		
神奈川県	8月19日～20日	第8回関東さわやかポッチャ大会	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール		○	
滋賀県	9月予定	文化祭	湖南ホームタウン	○		
鳥取県	9月2日	多様性を認め共生社会を考える研修会	ハワイアロハホール集会室	○		
福井県	9月10日	福井県丹南の旅	ラポーゼかわだ			○
大阪府	9月14日	お楽しみ企画 秋のバスレクリエーション	なにわ探検クルーズ		○	
山梨県	9月16日	秋の交流の集い	富士見高原リゾート			○
沖縄県	9月20日・10月5日・ 11月7日	ゆんたく交流会	ジミー那覇店			○
岡山県	9月24日	体を動かしみんなで楽しむ～フライングディスクゴルフ体験	岡山ふれあいセンター 小ホール		○	
広島県	9月30日	会員交流会	鏡山公園			○
神奈川県	10月1日	会員交流 日帰りバス旅行『横浜八景島シーパラダイス』	横浜八景島シーパラダイス		○	
愛知県	10月8日 (雨天時11月5日)	ホースセラピー体験会	RDA愛知 ピッコロファーム		○	
長野県	10月11日～12日	ライブパフォーマンス NPO法人 心魂プロジェクト	長野県 花田養護学校			○
愛知県	10月15日	東三B療育キャンプ「心魂プロジェクト」	豊橋総合福祉センター「あいつピア」		○	
福井県	10月15日	ローザンベリー多和田と黒壁の旅	ローザンベリー多和田			○
大分県	10月21日	みんなで繋がる会	ホテルサンバリーアネックス		○	
長野県	10月21日	バーベキュー体験	梓水苑			○
山梨県	10月21日	秋まつり	きぼうの家 障害者支援施設			○
神奈川県	10月21日	日帰りバスツアー	茨城・千葉・神奈川のいずれかで検討中			○
石川県	10月22日	レッツゴー! ワンツー体験	石川県立いしかわ特別支援学校 小体育館	○		
愛知県	10月22日	野外例会(父母の会日帰りバス旅行)	リトルワールド			○

都道府県	開催予定日	事業名	会場名	一般参加受入可否		
				可		不可
				無料	有料	
奈良県	10月28日	福祉バス旅行「ローザンベリー多和田」社会見学事業	English Garden ローザンベリー多和田			○
宮城県	10月28日	石巻を探検しよう！	かまぼこの白謙 門脇工場		○	
愛知県	10月28日	わいわいカーニバル	岡崎中央総合公園武道館			○
福島県	10月28日	りんご狩り	縦山果樹園			○
香川県	10月28日	地域で学ぼうみんなのバリアフリーな防災	鶴尾コミュニティセンター	○		
茨城県	10月予定	東海村心身障がい児者親の会 令和5年度ふれあい事業	鴨川シーワールド		○	
秋田県	11月4日	父母の会お楽しみ会	秋田市育明会 デイサービスセンター「ふきのとう」	○		
石川県	11月8日	相談員等研修会	金沢勤労者プラザ	○		
栃木県	11月11日～12日	真岡市肢体不自由児者父母の会 レクリエーション教室	葛西臨海公園			○
茨城県	11月12日	日帰り旅行	東京臨海広域防災公園			○
島根県	11月12日	会員、家族、地域との交流事業（ポッチャ競技）	松江市総合福祉センター	○		
福島県	11月18日	地域住民とのレクリエーション	須賀川市民交流センター	○		
沖縄県	11月19日	救命講習会	沖縄市福祉文化プラザ 交流ホール			○
大阪府	11月24日	冬季レクリエーション	音の花温泉・道の駅大和路へぐり		○	○
神奈川県	11月25日	みかん狩り	竜和園		○	
山形県	12月2日	クリスマス会	山形市総合福祉センター			○
石川県	12月3日	本人部会のメリークリスマス！	ANAクラウンプラザホテル「花梨」		○	
長野県	12月3日	サンタさんと楽しいクリスマス会	信州松本美ヶ原温泉「翔峰」		○	
沖縄県	12月3日	動物園見学（ふれあい）＆クリスマスファンタジー	沖縄こどもの国			○
大阪府	12月10日	クリスマス会	あいほうぶ吹田			○
北海道	12月10日	クリスマス会	旭川市障害者福祉センター体育館	○		○
北海道	12月10日	クリスマス会	市立札幌北翔支援学校		○	
茨城県	12月10日	クリスマス会	境町社会福祉会館			○
宮崎県	12月16日	第50回（宮崎市肢体不自由児・者父母の会）クリスマス会	シェラトングランデオーシャンリゾート	○		
山口県	12月16日	クリスマス会（会員親睦会）	市民活動支援センター		○	
愛知県	12月16日	難病のこども支援東海ネットワーク クリスマス会	豊橋市障害者福祉会館 さくらピア		○	
愛知県	12月16日	刈谷市はげみ会 クリスマス会	刈谷市心身障害者福祉会館 体育館			○
愛知県	12月16日	さわやかレクリエーションin小牧 ふれあいクリスマス会	ふれあいセンター		○	
熊本県	12月17日	大書道大会	生活介護支援センターあゆみ	○		
宮崎県	12月17日	クリスマス会	日南市都市農村交流センター		○	
石川県	12月17日	ラフの会 Happy Xmas	津幡町井上の荘集会所	○		
茨城県	12月17日	クリスマス会	古河市総和福祉センター「健康の駅」		○	
愛知県	12月17日	一宮市肢体不自由児者父母の会 クリスマス会	一宮市尾西生涯学習センター			○
愛媛県	12月23日	クリスマス食事会・ゲーム	道後（ホテル）		○	
広島県	12月23日	クリスマス会	広島市心身障害者福祉センター	○		
愛知県	12月24日	豊橋市父母の会 クリスマス会	豊橋総合福祉センター「あいピア」多目的ホール			○
和歌山県	1月12日～13日	令和5年度 障害児者親子の集い	ホテル&リゾート和歌山みなべ		○	
北海道	1月13日	新年交流会	ホテル函館ロイヤル		○	
福島県	1月13日	いちご狩り	アグリパークいわき観光いちご園		○	○
徳島県	1月20日～21日	障がい種別を超えて楽しめるイベント	徳島市生涯福祉センター（ふれあい健康館）	○		
徳島県	1月21日	みんなにやさしい「食」を考える～試食会&セミナー～	徳島市生涯福祉センター（ふれあい健康館）	○		
香川県	1月27日～28日	サスキロックンロールサーカス2024	高松国分寺ホール		○	
長野県	1月28日	いちご狩りと交流会	長野ベリーファーム			○
奈良県	1月30日	令和5年度 パソコン講習会事業	奈良県社会福祉総合センター 中会議室			○

# 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

2023.6.8 現在

名称 / 代表者	連絡先	事務局開局時間 / E-mail
一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会 会長 清水 誠一 事務局統括次長 原田由美子	〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709 TEL: 03-3971-3666 / FAX: 03-3971-6079	10:00~18:00 (月~金) zenshiren@zenshiren.or.jp
公益財団法人 北海道肢体不自由児者福祉連合協会 会長 清水 誠一 事務局長 加藤 英明	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 北海道立道民活動センタービル4F TEL: 011-241-8391 / FAX: 011-251-5027	9:00~17:00 / 月~金 doshirenkyo@h-doshikyo.jp
青森県肢体不自由児・者父母の会連合会 会長 四戸 龍英 事務局長 石岡 千鶴子	〒036-8217 青森県弘前市茂森町137 株式会社ダイヤモンドアップル内 TEL/FAX: 0172-88-7668	不定 なし
秋田県肢体不自由児者父母連合協会 会長 金 登美一 事務局長 渡邊 啓宇	〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉 会館内 TEL: 018-864-2784 (不在時は事務局長の携 帯に転送されます) / FAX: 018-828-0827	10:00~12:00 / 火・金 k-watanabe@kusakai.co.jp
岩手県肢体不自由児・者父母の会 会長 工藤 真弓 事務局長 今野 紀子	〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ1-6-2 好望・恕内 TEL: 019-647-8941 / FAX: 019-656-1084	不定 kobojo02@polka.ocn.ne.jp
山形市・県肢体不自由児者父母の会 会長 椿原 和子 事務局 伊藤 優子	〒999-3121 山形県上市市東町3-30 こ・こあハウス気付 TEL/FAX: 023-666-8616 (伊藤優子宅)	不定 ycomasashun622@yahoo.co.jp
宮城県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 永井 一男 事務局 下山 恵子	〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-2 宮城県障がい者福祉協会 TEL: 022-293-2902 / FAX: 022-291-1588	9:00~17:00 / 木曜 (週1) miyagikensiren@gmail.com
(一社) 福島県手をつなぐ親の会連合会 会長 七宮 弘 事務局長 丹治 洋子	〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 (福島県総合社会 福祉センター内) TEL/FAX: 024-522-7228	9:00~17:00 / 月~金 fukushimakenrengokai@rose.plala.or.jp
栃木県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小林 厚子 事務局 武藤 由美	〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内 TEL/FAX: 028-621-3031	9:00~16:00 / 月・水・金 (週3) tochishikyoku@iaa.itkeeper.ne.jp
茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 御代川 栄子 事務局長 村田 裕二	〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内 TEL: 029-243-3838 / FAX: 029-243-3854	9:00~17:00 / 月~金 iba-ikufubo@bz03.plala.or.jp
群馬県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 上原 奉洋 副会長 斎藤 寛	〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原1154-11 (上原様方) TEL/FAX: 0277-72-3868	不定 uehara.yasuhiro@sepia.plala.or.jp
埼玉県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小泉 俊男		不定
千葉県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 西脇 理知子 事務局長 中臺 あしこ	〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-27-20 わかば会館内 TEL/FAX: 047-422-0890	10:30~14:30 / 火・金 (週2) ashiko26hs@yahoo.co.jp
一般社団法人 東京都肢体不自由児者父母の会連合会 会長 池邊 麻由子 事務局長 上野 賢	〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-3-12 (上野) TEL: 03-5956-3335 / FAX: 03-5956-3336	9:00~17:00 / 月~金 toushiren@toushiren.or.jp
神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 光延 貞真 事務局長 高野 幸子	〒252-0814 藤沢市天神町3-8-7-104 光延卓真 (通知文のみ、また急ぎの場合) TEL: 0466-83-4557 / FAX: 0466-83-4557 (光延宅)	10:00~16:30 / 月・火・木・金 (週4) nyrhpl08@ybb.ne.jp
山梨県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 旭 喜彦 事務局長 河田 あけみ	〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居540-7 (河田様方) TEL: 090-6143-6142 / FAX: 055-275-0536	9:30~18:00 / 月~金 akemi_129@yahoo.co.jp
長野県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 浅井 茂 事務局長 上野 智恵子	〒380-0936 長野県長野市大字中御所字岡田98-1 長野県長野保健福祉事務所1階 TEL: 026-224-2827 / FAX: 026-217-2175	9:00~14:00 / 月・水・金 (週3) naganokennsirenn@yahoo.co.jp
新潟県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 坂田 真弓 事務局 五十嵐 聡美	〒950-0121 新潟県新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内 TEL/FAX: 025-381-1519	不定 niigatakenshiren@rainbow.plala.or.jp
富山県肢体不自由児者父母の会連合会		
石川県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 松田 郁夫 事務局長 高田 茂	〒920-8557 石川県金沢市本多町3-1-10 石川県社会福祉会館内 TEL/FAX: 076-224-6126	9:00~17:00 / 月~金 ishikawakenshiren@movie.ocn.ne.jp
福井県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 小森 宗治 事務局長 山田 須美恵	〒918-8018 福井県福井市大島町戌亥402-21 (山田様方) TEL/FAX: 0776-36-6829	9:00~17:00 / 月~金 sumisumin04@gmail.com
岐阜県肢体不自由児者障害児者父母の会連合会 会長 日比 奈緒美	〒503-0971 岐阜県大垣市南一色町683-45 (日比様方) TEL/FAX: 0584-75-1277	不定 なし
一般社団法人 静岡県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 大石 辰夫 事務局 小林 妙子	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館シズウェル3F TEL: 054-266-3465 / FAX: 054-266-3466	10:00~16:00 / 月~金 shizu.kenshiren@cy.tnc.ne.jp
愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会 会長 荻野 義昭 事務局 加藤 歩	〒444-0944 愛知県岡崎市北本郷町神明25 (会長自宅) TEL: 0564-31-6096 / FAX: 0564-32-0487	不定 czf12356@sf.commufa.jp

名称 / 代表者	連絡先	事務局開局時間 / E-meil
三重県肢体不自由児(者)父母の会連合会 会長 鈴木 錠平	〒510-8036 三重県四日市市南垂坂町810-47(会長宅) TEL/FAX: 059-333-0005	不定 johei-s328@qc.commufa.jp
滋賀県障害児者と父母の会連合会 代表 植松 潤治 事務局 瀬戸・古川	〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 湖南ホームタウン内 TEL: 077-583-6395 / FAX: 077-514-1702	10:00~17:00 / 月~金 fubonokai@open-mind.jp
公益社団法人 京都市身体障害児者父母の会連合会 会長 岡 千栄子 事務局 久門 誠	〒615-0882 京都府京都市右京区西京極葛野町2 TEL: 075-321-6902 / FAX: 075-321-6903	9:00~17:00 / 月~金 hisakado@mineo.jp
奈良県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 前田 妙子 事務局 宿利 浩章	〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL: 0744-29-0140 / FAX: 0744-21-6112	10:00~16:00 / 月火 10:00~14:00 / 木金(週4) honbu@narakenshiren.gr.jp
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会 会長 橋本 佳子 事務局長 藤井 かをり	〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスバル法円坂5F 大肢協内 TEL: 06-6940-4181 / FAX: 06-6943-4661	9:00~17:30 / 月~金 ren@daishikyoo.or.jp
和歌山県障害児者父母の会連合会 会長 岩橋 正悟 事務局 川端・山本	〒640-8324 和歌山県和歌山市吹屋5-49-3 (社福)つわぶき会法人本部(川端) TEL: 073-431-7000 / FAX: 073-488-6662	8:45~17:00 / 月~金 htuwa294@tuwabuki.jp
兵庫県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 畑本 秀希 事務局担当 吉田 知英	〒650-0004 神戸市中央区中山手通5-1-1 神戸山手大木 ビル2F(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団内 TEL/FAX: 078-362-2025	10:00~18:00 / 月~金 yosd-tom-hyogo@bca.bai.ne.jp
鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 浜崎 晋一 事務局 有沢 郁翁	〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内 TEL: 0857-59-6344 / FAX: 0857-59-6340	8:30~17:15 / 月~金 kobayashia@tottori-wel.or.jp
岡山県肢体不自由児者福祉協会 会長 宮本 敏行 事務局長 倉持 郁夫	〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 県総合福祉・ ボランティア・NPO会館(きらめきプラザ)1F TEL/FAX: 086-222-9018	9:30~16:30 / 水・木 okasifuku@kirameki-plz.com
島根県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 今岡 裕統 事務局長 足立 裕	〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-107 けんしれん事務局(事業部) TEL: 0852-27-7185 / FAX: 0852-31-7927	不定 wako@hyper.ocn.ne.jp
広島県心身障害児者父母の会連合会 会長 米田 操 事務局長 中山 智子	〒731-0231 広島市安佐北区亀山6-3-33-1(事務局)	不定 m.yoko@do3.enjoy.ne.jp
山口県肢体不自由児(者)父母の会連合会 会長 福田 修三 事務局次長 小林 伸道	〒753-0072 山口県山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内 TEL: 083-925-2424 / FAX: 083-925-2212	8:30~17:15 / 月~金 yamashiren@soleil.ocn.ne.jp
香川県肢体不自由児者と父母の会連合会 会長 三谷 美代子 事務局長 河野 佐保	〒763-0092 香川県丸亀市川西町南甲167-8 河野内 TEL: 0877-28-0429 / FAX: 0877-28-0429	不定 kashiren.1114@outlook.jp
徳島県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 圓井 美貴子 事務局 久積 智子	〒773-0031 徳島県小松島市和田島町松田新田305-11 (久積宅) TEL: 088-644-0267(圓井) / FAX: 0885-37-0525(久積)	不定 challenge.toku@gmail.com
高知県肢体不自由児者父母の会		
愛媛県肢体不自由児・者父母の会連合会 会長 渡部 坂嘉 事務局 徳永 隆子	〒790-0063 愛媛県松山市辻町15-21 TEL / FAX: 089-923-4550	不定 ehimekenshiren@outlook.jp
福岡県肢体不自由児者福祉連合会 会長 中川 雅順 事務局長 長野 陽子	〒810-0024 福岡市中央区桜坂3-12-6 長野様方 TEL / FAX: 092-741-8271 090-3606-4961	9:00~17:00 / 月~金曜 0nu2893v7873x6n@ezweb.ne.jp
佐賀県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 福市 繁幸 事務局 井上 恵美子	〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12(7F) No.156 TEL: 0952-97-5567 / FAX: 0952-97-5568	不定 sagakenshiren@yahoo.co.jp
長崎県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 下村 明美 事務局長 中野 理恵	〒858-0912 長崎県佐世保市母ヶ浦町2000-5 TEL / FAX: 0956-55-8922	19:00~21:00 / 月~土(週6) 下村: papamama555nagasaki@yahoo.co.jp
大分県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 濱田 聖美 事務局 久門 健太	〒876-2202 大分県佐伯市蒲江尾浦7区 濱田聖美方 TEL: 080-6753-9397 / FAX: 0972-45-0277	不定 o.kenshiren2@gmail.com
熊本県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 加賀野 幸子 事務担当 河端 尚美	〒861-5271 熊本県熊本市西区中原町370-4 生活介護支援センターあゆみ内 TEL: 096-273-6518 / FAX: 096-273-6519	不定 tzaitsu2010@cap.bbq.jp 又は ayumi.dosa@outlook.jp
宮崎県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 田中 聡子 事務局長 竹中 恵美	〒880-0024 宮崎県宮崎市祇園1-50 宮崎市身心障害者福祉会館内 TEL/FAX: 0985-27-2867	10:30~16:00 / 月・火・木・金(週4) miyazakikenshiren@gem.bbq.jp
鹿児島県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 四蔵 幸夫 事務局長 塩屋 智子	〒891-0103 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台4-72-13 TEL: 090-6649-7459 / FAX: 099-264-1086	不定 y.shikura@nils.ne.jp
沖縄県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 宮島 京子 事務局長 宮城 稲子	〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺2丁目24-24 ケイズコート203 TEL: 098-836-2352 / FAX: 098-851-3336	10:00~16:00 / 月・水・金(週3) info@okishiren.org



オーダーメイドでかなえる、  
わたしだけにぴったりのランドセル。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ふわりいは、全てのお子さまの未来のために  
持続可能な世界の実現へ向けて取り組んでいます。

ふわりい  
障がい児  
用  
オーダーメイド  
universal  
Uランドセル

3つの基本型に、オプションを組み合わせ  
お子様に最適なランドセルを職人が心をこめて手作りします。

2004年度 グッドデザイン賞 受賞商品

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会 推奨

基礎3タイプ+細かなオプションで通学や  
使い勝手に合わせた機能を細かく選べます。  
詳しくはふわりいウェブサイト、または専門  
のランドセルアドバイザーにご相談ください。

重量:約800g～ 価格:45,100円(税込)～



スマホから  
シミュレーション&  
ご注文はこちら!



**A** 全カブセタイプ

最もスタンダードで扱い  
やすい、全カブセタイプ。



**B** 半カブセタイプ

錠前が前面についてるので  
開閉しやすい半カブセタイプ。



**C** よこ型タイプ

車椅子に取付けやすい  
よこ型ランドセル。

ふわりい

検索



e-mail: info@fuwarii.com

URL: https://fuwarii.com

